

お知らせ

平成 3 年秋季講演大会は下記により開催されることになりましたのでお知らせいたします。

会 期 平成 3 年 10 月 1 日 (火), 2 日 (水),
3 日 (木)
場 所 広島大学
(〒730 広島市中区東千田町 1-1-89)

お知らせ

第 17 回鉄鋼工学セミナーは下記により開催されますのでお知らせいたします。詳細は「鉄と鋼」3 号に掲載いたします。

1. 期 日 平成 3 年
7 月 27 日 (土)~8 月 2 日 (金)
2. 場 所 蔵王ハイッ
(宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉上の
原 28 Tel. 0224-34-2311)
3. 募集人員 製鉄コース 25 名, 製鋼コース 45
名, 材料コース 100 名
4. 申込締切日 平成 3 年 5 月 15 日 (水)
5. 問合せ先 日本鉄鋼協会 編集・業務室
阿部, 下川 Tel. 03-3279-6021

☆☆☆☆☆

ISO 幹事国活動**1. 国際規格発行に関する進捗状況**

- (1) ISO 規格が発行されたもの: 2 件 (TR 含む)
ISO 9765 (SC19) 圧力用途用 SAW 鋼管の溶接部
L, T 方向超音波検査
ISO/TR 10281 (SC1) Mn-原子吸光法
- (2) DIS が登録されたもの: 5 件
DIS 5000 (SC12): Al-Si めっき鋼板
DIS 5001 (SC12): ほうろう用冷延鋼板
DIS 5951 (SC12): 加工用高張力熱延板
DIS 10287 (SC16): 鉄筋用鋼-金網溶接継手部の強
度の決定法
DIS 10544 (SC16): 鉄筋及び溶接金網用の冷間引
拔線

2. TC17 (鉄鋼) 関係

- (1) 鉄鋼 ISO 運営委員会を開催し, 平成 2 年度事業
報告及び決算案, 平成 3 年度事業計画及び予算案,
TC17 総会予算案等の審議を行った。

- (2) TC17 内の各 SC のワードプロセッシングに関する
調査

TC17 にてフロッピーディスクによる規格原案の
送付を各 SC に対し奨励し, 既に 2~3 の SC は実
施を始めているが, 欧州地区各 SC の実情を訪問
調査した。その結果, 今回訪問した SC はすべて
中央事務局とフロッピーディスクベースでの互換性
がとれる形となっている (スタンバイ状態の機種も
含めて) ことが判明した。

- (3) SC8 の幹事国インドの辞意表明に従い, 後任の
幹事国を募る質問状を作成, P メンバーに送付し
た。

3. TC17/SC1 (化学成分分析) 関係

- (1) 今回出版された「ISO/TR 10281 (Mn-原子吸光
法)」について

作業の安全性を重視した塩酸・硝酸分解法による
原子吸光法であるが, 銑鉄や鋳鉄などけい素含有率
の高い試料には誤差が大きくなる可能性がある。高
けい素含有率試料にも適した過塩素酸分解法による
原子吸光法が現在規格化されつつあるため, 当方法
は ISO 指針により技術報告 (第 2 種) として発行
された。

- (2) 第 99 回 SC1 分科会・第 39 回 SC1 諮問部会に
おける討議内容 (1990-12-5)

1) 分科会関連

- ① ISO-JIS 整合化のための SC1 分科会対応策
- ② WG22 (Mn-原子吸光法), WG25 (S-吸光光度法),
WG29 (Co-原子吸光法), WG30 (Co-電位差滴
定法), WG31 (Mo-吸光光度法) 等の国際共同
実験用規格素案 (WD) に対する日本コメント

2) 諮問部会関連

- ① SC1 幹事ヨーロッパ出張報告
- ② TC102 (鉄鉱石分析) との Liaison について
- ③ 1990 年度実績報告・1991 年度事業計画等

4. TC67/SC5 (油井管) 関係

- (1) 日本が幹事国引受け後の最初の国際会議を, 1991
年 6 月 4 日 API の支援のもとに開催することにな
った。まず油井管 (ケーシング, チュービング,
ドリルパイプ) の API 規格の ISO 化を考える。
- (2) 常任議長は日本から選出する。

5. 国内会議

- 11 月 29 日 第 2 回 TC17 総会実行委員会: 江本委
員長, 以下 13 名
- 12 月 5 日 第 99 回 SC1 分科会・第 39 回 SC1 諮問
部会: 佐伯部会長, 以下 12 名
- 12 月 6 日 第 24 回鉄鋼 ISO 運営委員会: 山本委
員長, 以下 17 名